

## 事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目	タレント発掘・一貫指導育成事業		
助成事業者名	公益財団法人日本テニス協会		
事業名	totoトレセンシステム事業		
事業実施期間	平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 28 日 (延べ 209 日間)		
事業の成果	<p>本事業を実施することにより、競技者育成の底辺となる若年層のジュニア選手からトップレベルのジュニア選手まで、ブロックトレセン、エリアトレセン、ナショナルトレセンを通じて一貫した育成と強化を実施することができた。</p> <p>またナショナルコーチの国内ジュニア大会派遣を通じて、指導者間の連携も促進することができた。</p>		
事業に対する評価	<p>ブロックトレセン、エリアトレセンに関しては、予定回数を実施することができなかったが、ナショナルトレセンに関しては、回数こそ予定を下回ったものの、日数は大幅に上回るスケジュールで実施することができた。ブロック、エリアに関しては派遣指導者の数を増やさなければ、本年度以上に回数を増やすことは難しいと思われるため、事業に協力してもらえる指導者の育成と確保も、同時並行的に進めていく必要があると思われる。</p>		
事業計画及び実績		年度当初計画	実績
	述べ参加人数	1,152 人	870 人
	活動日数	138 日	209 日
	述べ指導者数	668 人	508 人
	累計各年代代表選手輩出数	13 人	17 人
事業の実施方法	第三者への委任（事務委任等）の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無    ※第三者への委任（事務委任等）が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること	
	委任先の組織名称		
	委任の内容		
実施した事業の内容			
<p>事業は一年間を通じて開催。ブロックトレセンは兵庫県、愛媛県、島根県、大阪府、香川県、大分県に加え、本年度より山梨県と富山県でも実施した。エリアトレセンは西日本トレセンとして実施した3回のほか、中国・関西、四国・九州を1回ずつ実施。ナショナルトレセンは男女合わせて35回実施した。ナショナルコーチの国内ジュニア大会派遣は、6大会で実施することができた。</p>			
情報公開	助成金の使途に関する情報の公開並びに	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由： ( )	
	公表した内容（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由： ( )	
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法
備考			